

イフジ産業 増収増益

販売好調、価格改定で過去最高業績

売り上げ、経常利益ともに過去最高を更新。営業利益は前期比18・9%増の15億7500万円、経常利益とともに9期連続の増益、当期純利益は12・1%増の11億1600万円、4期連続増益となり、いずれも過去最高益。

主力の液卵事業は過去最大規模の鳥インフルエンザの発生による鶏卵の供給不足に伴う鶏卵相場の高騰が続く中、安定供給に努めたことで新規取引先の獲得や既存取引先への販売が順調に推移し、販売数量は前期比4%

や販売数量の増加のほか、製造コストの増加に対応するため工場の生産効率の向上や歩留まりの向上などに努め、セグメント利益は21・5%増の15億900万円となった。

調味料関連事業は、グループ内での輸入粉卵および卵白プロテインの委託加工などの販売増加や健康食品などの付加価値商品向け販売が増加し、売上高は4・9%増の12億5500万円。利益面では、原材料費が増加したことなどで22・1%減の5400万円だった。

増となり過去最高を記録。また、製造コストの増加や鶏卵の供給不足による原料仕入れ価格の高騰、取引先からの要請を受けて販売価格の改定を進め、液卵売上高は20・6%増の183億5700万円となった。加工品売上高はゆで卵や卵白プロテインの販売増などで56・8%増の7億9800万円。そのほかの売上高は6・1%増の6億2700万円。この結果、液卵関連事業全体は21・2%増の197億8400万円だった。利益面では、販売価格の改定

今期の売上高は前期比19%増の248億6500万円、経常利益は2・3%増の16億5200万円を予想。営業利益は3・8%増の16億3600万円、純利益は0・3%増の11億1900万円を見込んでいる。